

# 令和3年度第1回真室川町総合教育会議

令和3年10月29日（金）午前9時30分より、真室川町役場301会議室において令和3年度第1回真室川町総合教育会議を開催した。

出席者	町長	新田 隆治
	教育長	門脇 昭
	教育委員	遠田 且子
	教育委員	鮭延三枝子
	教育委員	中塚 聖子

事務局出席者	総務課長	佐藤 和弥
	教育課長	高橋 雅之
	指導主幹兼指導主事	早坂 真紀
	学校教育係	
	課長補佐	山田 千穂
	生涯学習係	
	課長補佐兼係長	佐藤 正美
	子育て支援係	
	課長補佐	栗田 猛

## 会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ  
町長  
教育長
- 3 報告
- 4 協議・調整事項（座長：町長）
  - (1) 教育行政の当面の課題について
    - ① 学校教育関係
      - ア ICT教育の推進について
      - イ ふるさと学習・食の教育大使委嘱事業について
    - ② 生涯学習関係
      - ア 社会教育施策の推進について
        - ・スタディツアー、大人の社会科副読本の作成
        - ・まちなか図書館構想の推進
      - イ 秋山スキー大会について

### ③ 子育て支援関係

#### ア 子育て支援事業の現状と課題について

#### (2) その他

5 その他

6 閉会

#### 会議の経過

教育課長

(1 開会)

(2 あいさつ)

町長

本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。今年度も半年が経過しましたが、コロナ禍ということで、予定通り事業ができないことが多々あります。その中で、各保育所・学校では運動会や文化祭等を実施することができました。スポーツ関係についても人数制限がある中ですが活動できており、良かったのではないかと思います。

また、12歳以上のコロナワクチンの接種を行ってきましたが、報道にあるとおり前回の接種から8か月経過すれば、3回目のワクチン接種ができることとなります。今後、町議会臨時会を開き予算を確保したいと考えているところです。

現在、本町のワクチン接種率は92%程度で、県内では比較的高い方です。町内感染者が発生していないので接種しなくても大丈夫という雰囲気にならないように、しっかり対応していきたいと考えています。第6波及びインフルエンザの蔓延も予想されます。新生活様式ではなく、もう当たり前の生活様式として、今後も感染予防に取り組み、経済対策も講じていきます。

また、生涯学習系の事業について、先日行われたスタディツアーは雨の中でしたが、好評で楽しみにしていた方が多かったと聞いています。ステップアップとしてたくさんの人を呼ぶ機会やもっと深く知っていく機会が必要ではないかと思っています。鮭延秀綱の講演会や真小の文化祭等、少しずつですが町の文化を理解していただく機会も増えてきています。今後についても、皆様のご意見を取り入れていきたいと思えます。

本町の児童生徒の学力については改善の兆しがみられますが、全体的に成績が上がり、児童生徒自身や保護者の皆さんが成果が感じられるようにしていければと思います。

今日の会議よろしく願いいたします。

教育長

皆様からは、普段より本町の教育行政において様々ご尽力いただき、

誠にありがとうございます。コロナ禍の中で少し落ち着いた情勢となってきました。これまでは首都圏から見れば本町の児童生徒の学びの保証は保つことができたのではないかと考えています。もちろん、今後の第6波等を想定した対策も緊張感をもって取り組んでいきます。

修学旅行について、真室川中学校の3年生が県内ではありますが無事終わることができました。生徒たちも満足したとの話を聞いています。今後は小学校が11月10日前後、真室川中学校の2年生が福島・会津に行き、宿泊は県内という修学旅行の計画をしています。直前になって修学旅行が中止となった自治体もある中で、本町は実施ができ良かったと考えています。

町長から話もありましたが、真室川小学校児童が神田紅さんの講演会を聞き、町の文化に触れることができよかったですと思います。さらに、ふるさと学習の拡充に努めていきたいと考えています。学力検査結果は改善の兆しがありますが、なかなか大きな改善とまではいきません。今後とも対策を進めていきたいと考えています。

本日は来年度事業の話が多いですが、様々なご意見よろしくお願いたします。

教育課長

次第4 協議・調整事項に移ります。今後の方向性や課題が中心となります。係毎に区切りながら、進めていきます。

座長は町長にお願いいたします。

町長

では、事務局から説明をお願いします。

山田補佐

(学校教育関係 ア ICT教育の推進について を説明)

町長

昨年度から継続している事業ではありますが、ICT教育の推進について、何か質問やご意見等ありませんか。

遠田委員

低学年がPC端末に入力する際にローマ字を使用するという話がありましたが、指導要領ではローマ字の扱いはどうなっていますか。

指導主幹

低学年では明確に指導要領の中にローマ字学習の記載はありません。小学校4年生で学ぶものですが、推奨される力と捉えています。指導というよりパソコンを使う中で、自然に使っていきける形でと考えています。もちろん発達段階に応じた指導になりますので、実際に低学年でローマ字を扱わないクラスや学校がでてくることも想定されます。

町長

キーボードで入力する際に、かな入力する人が少なくなったようです。実際にパソコンを触っていく中で自然に覚えるのではないのでしょうか。ローマ字の文法はヘボン式と訓令式がありますが、学校ではどちらを使っていますか。

- 指導主幹  
教育長 学校現場では、へボン式で統一して指導しています。  
実際にパソコンを触るなかで自然に覚えていくという訓練の一種だと捉えています。ローマ字は指導要領では4年生で必ず学ばなくてはならないものとなっていますが、低学年でローマ字入力ができるようにするというのはあくまで推奨として捉えています。
- 町長 自然に触れていき、使いながら覚えるということだと思いますが、へボン式と訓令式のどちらでも対応できるようパソコンはできています。勝手に機械が変換してくれるという側面もあり、文法が疎かになるという危険性もあるので、注意して指導していただきたいと思います。
- 鮭延委員 無理やり学習するのではなくて、自学で親が少しずつ教えていくと親しみやすいのではないのでしょうか。私も孫に教えたりしますが、面白がって学んでいるように感じます。
- 町長 自学用にタブレットの持ち帰りは行っていますか。
- 指導主幹 まだ実施していませんが、今後、進めていくこととしています。
- 町長 算数おけいこセットのような、パソコンで行う自学用のシステム一式が販売されています。ネット回線に繋いで学習できるものが多く出回っています。学校では情報機器を活用した学習に力を入れはじめている途中ですが、すでに家庭では行っている例も多いと思います。学校も世の中に対応していかないと、世の中のほうが進んでいるという話になります。昔だと紙ベースでしたが、現在は情報機器で添削していくものもあるようです。
- 教育長 通信教育が情報機器で行われている例は多くあります。民間企業はこれが生命線なので対応が早いのは当たり前ですが、もちろん遅れてはいけないと考えています。
- 町長 もちろん民間と行政とで整合性をとっていくのは難しいですが、一番問題なのは指導する側がどうするかでないのでしょうか。最上広域市町村圏事務組合教育研究センターには算数・数学アドバイザーを配置しています。ここでICTの研修をする案もあります。もちろん、タブレットの持ち帰りの難しさや課題はあると思いますが、ぜひ有効活用を進めてください。
- 中塚委員 資料の「対応策」に、「学校と家庭の連携」が記載されていますが、親として教えられるスキルがない中、子どもに伝えている状態なのでこういった取り組みはありがたいです。見せたくないサイト等を、見ることができなくする方法を具体的に子供が小さいときから、保護者はぜひ教えてほしいと考えていると思います。
- 指導主幹 福祉課と現在協議しているところですが、乳幼児の時期から専門家に

子どもとの関わり方を保護者向けに講演していただきたいと計画しています。幼児期からのことば力向上事業という形で進めていきたいと考えています。また、就学時健診では、どうすればフィルタリングが設定できるのかといった内容のものを保護者に講演しています。内容に関して今後も検討を加えていきますが、計画を立てて実施していきたいと考えています。

町長 フィルタリングにはプロバイダの方を設定する方法と機器の方を設定する方法とがあります。ウェブサイト等でも見落としがちですが、初期設定も実はできます。分かりやすくすることが必要ではないでしょうか。

教育長 実は全国学力テストが今後C B T化される計画が進んでいます。手をこまねいていると、乗り遅れてしまいます。整備を整えてからという考えはもちろんありますが、同時進行でクリアしながら進めていかなければなりません。パソコンはソフトがないとただの箱なので、ソフトの予算化が大事になります。情報化への対応については、教員はどうしても情報機器には疎く、今までの業務に追加された形になっていますので、ぜひ教員へのサポートをお願いします。

町長 では続いてふるさと学習・食の教育大使委嘱事業について、事務局から説明をお願いします。

指導主幹 (学校教育関係 イ ふるさと学習・食の教育大使委嘱事業についてを説明)

町長 2つありましたが、何か質問・ご意見等がありますか。

鮭延委員 1つ目のふるさと学習の推進ですが、各校で取り組んでいることがありますが、こういうものを一緒に発表する場があると、各校それぞれで切磋琢磨できるのではないのでしょうか。

町長 発表する機会がある事業はありますが、記録で残していく必要があると思っています。発表会はしっかりしますが、それが記録として残っていない印象があります。これはI C Tを活用すれば可能です。全校児童を一か所に集めるのは難しいですが、I C Tを使った取り組みならできますし、「残す」ということを大事にしてもらいたいと思っています。

遠田委員 とても良いと思います。小規模校の同じ学年が発表しあう取り組みなど学校に投げかけてみてはいかがでしょうか。

町長 ソフト的には比較的簡単にできるのではないかと思います。

教育長 今の話は大変よい考えだと思います。学校現場では非常に行事が多くなっていますので、一つ作ると一つスクラップを考えなくてはなりません。

ん。現在は年度途中でもあるので、私たちが注意して舵取りしていかなければと考えます。

指導主幹 ふるさと学習の課題として、中学校で学びなおしに苦慮されています。小学校3校の生徒達が中学校で1つに集まるため、出身校以外の学習内容がなかなかわからないのが課題となっていますが、こういったところも改善できるのではないかと思います。道筋が見えて大変助かります。

町長 データだと保存もできますし、引継ぎも容易になるかもしれません。食の教育大使については、今年度中に委嘱することとしています。

教育長 コロナ禍のため、中々本町にお招きできていない状況ですので、まだ委嘱できていません。コロナが収まったときにと考えています。オンラインでもとの考えもありますが、学校と連携した今後取り組みの考えもありますので、実際にお会いして任命できればと考えています。

町長 緒方湊さんは既に大人以上の知識を身に付け、専門家として活躍しているので、小学生相手では物足りなさを感じるかもしれません。大人でも対応が難しく、我々も真室川の野菜の学び直しが必要かもしれません。

教育長 教育課だけではなく、農林課等の力を借りていかないと難しいのではないかと思います。ぜひ力を貸していただきたいと考えています。

町長 それでは生涯学習関係 ア 社会教育施策の推進について 事務局から説明をお願いします。

佐藤補佐 (生涯学習関係の ア 社会教育施策の推進について を説明)

町長 教育委員の皆さんは、スタディツアーには行かれましたか。教育長や担当には言っていますが、コアなファンが増えて、よいことなのですが、初参加の人にも多く来ていただけるものにしていきたいと思います。大人の社会科副読本は観光ガイドの側面もあるため、とても重要だと感じています。デジタル化や他課と連携し、勉強しながら実施していきたいと思います。また役場職員の中で、駅前にぎわい再生検討委員会を立ち上げて、今ある建物を使ってどうすればにぎわいを取り戻すことができるか、何ができるのかを検討しています。これまで3回の会議を実施しており、公表はしていませんが重要な会議と考えています。

それでは意見等ありますか。

遠田委員 大人の社会科副読本について、大変期待しています。今までのまとめのような内容は大事ですが、町の中で忘れられていくものにスポットを当ててもよいのではないのでしょうか。秋山公園は戦争中に爆弾を投下さ

れていますし、秋山や大滝に遺跡があったとの話を聞いたことがあります。ぜひ今あるものはなくさず、町民の身近なところにあるようにして行ってほしいと思います。スタディツアーについて、オンラインの話がありますが、座学との組み合わせも効果的ではないでしょうか。開催が夜になって大変かもしれませんが、ツアーにも良い効果があると思います。新規の取り込みとして座学講座などいかがでしょうか。

鮭延委員 私も参加させていただき、リピーターが多いと感じました。初めて参加される方を増やしていくことは大事ですので、なんとかここを掘り起こして行っていただきたいと思います。

町長 スタディツアーですが、主要な箇所はもうまわったのではないのでしょうか。

教育長 まだ紹介する箇所が多くあります。また実施方法も、先日は半日で実施しましたが、半日のほうがいいのではないかとの意見もあります。長続きできるものにしていきたいと考えています。

町長 スタディツアーが町内一回りした際は、ぜひリピーターには町の深いところを紹介し、初めての方にとってはまた来たくくなるようなものにしてもらいたいと考えています。

中塚委員 その副読本は冊子形式など、どのような形になる予定ですか。

教育長 まだまだ検討段階です。来年度検討委員会を立ち上げて検討していきたいと思います。

中塚委員 参加したいが、足が悪くて実地には参加できないという町内の方の話を聞いたことがありますので、ぜひ実現してもらいたいと思います。

町長 データ形式になるのではないかと私は考えています。冊子にしてしまうと逆に使いにくいのではないかとと思います。

鮭延委員 まちなか図書館構想に関してですが、町外の方から駅にたくさん本があり大変良いと褒められました。みなさんにも報告させていただきます。

町長 電車に乗る人は昔と比べて減りましたが、駅内の売店に来る人は多いので、ぜひそういった人に読んでもらえるとよいと思います。

教育長 町内から特に多く本の寄贈をいただいております。大変ありがとうございます。処理しきれないほどになっているとも聞いているところです。

遠田委員 町では何をテーマとして今行政を進めているとか、こんな行事があるとか、公営塾はどこにある、といったような情報が町民の方に伝わっていないと感じています。広報やホームページだけではなかなか伝わっていないので、町の様々な場所に情報センターのようなものがあるといいと思いますができないのでしょうか。

町長 情報提供は、現在、区長文書といった形で地域への回覧による方法をとっています。それらの情報をまとめた一覧もホームページで公開していたと思います。

総務課長 はい。区長文書の配布一覧はホームページで公表しています。

町長 まず、そこに載せていきPRの方法も検討していきたいと思います。確かに、自分の課のことは一生懸命PRしていますが、それをまとめる力は確かに弱いと感じます。

遠田委員 古本市は事前の開催情報をどのくらい周知したのでしょうか。

教育長 古本市に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念もあり、参加者が集まりすぎても難しいため、回覧一本で周知させていただきました。定期的な本のマルシェができるといいのですが、行政職員の力だけではマンパワーの部分で難しさがあります。今後、図書館パートナーとの協力を強めていきたいと考えています。古本市やマルシェ等、本にふれ、本を見つける体験が少なくなっているので、ぜひ体験していただきたいと思います。

遠田委員 まちなか図書館がどこにあるかといった情報はどう周知をしていますか。

佐藤補佐 図書室だよりや町広報で周知しています。今後、新たな設置も行いますので、その都度周知していきたいと思います。

教育長 「まちなか図書館設置店の店主が勧める本」など、本の紹介もおもしろいと思います。山形銀行真室川支店では頭取の紹介した本が置かれていました。こういった各設置場所の色を出していくことも大事なのではないかと考えています。

町長 それでは生涯学習係 イ 秋山スキー大会について 事務局から説明をお願いします。

佐藤補佐 (生涯学習関係の イ 秋山スキー大会について を説明)

町長 詳細は教育委員会でお話していただければと思いますが、歴史的な大会のため関係している方々としっかり議論して進めていただきたいと思います。

栗田補佐 (子育て支援関係 ア 子育て支援事業の現状と課題について を説明)

町長 保育士の確保が難しいという課題はありますが、まず金銭的な支援を行っていきたいと考えています。出来るだけ家庭で保育してほしいと0歳から1歳まで月3万円支給の制度があります。県の0歳から2歳児



の特定の所得階層の保育料負担軽減制度もはじまっています。町ではすべての所得階層に対して保育料2分の1軽減策を既に行っており、また、県が恒久的にこの制度を行うかわからない状況です。そのため、町では県の制度と連携した特定層の保育料無償化には踏み切っておらず、県からの交付金はそのまま保護者にお渡しするようにしています。また、入所調整中の人がいることも忘れてはいけません。我々からすると調整人数は待機児童と捉えることができます。このような町の施策についてご理解いただきたいと思います。

子育て支援事業の現状の課題、その他今までの議論を通じて、何かご意見等ありますか。

遠田委員

町の施設のバリアフリー化に関してですが、ぜひ中央公民館と歴史民族資料館について検討していただきたいと思います。特に、歴史民俗資料館は玄関までの階段が長く展示室にも急な階段があります。以前、入口まで行ったけれども、車椅子をあげることができなかったこともあると聞いています。せめて玄関だけでも、高齢者にもっと優しい形にしていかなければならないと思います。

町長

スロープをつくる話もありましたが、車椅子が登れる勾配ではないということで断念した経緯があります。収蔵庫を作る際の設計の都合で、行きにくい施設だと感じています。これを解決するには建て直ししかないのではないかと思います。将来的に何を残していくかをまずは検討していかなければならないと思います。

遠田委員

資料館を収蔵庫として、中央公民館を展示室にする案はどうでしょうか。

教育長

ひとつのアイデアとしていただきたいと思います。

町長

先ほどの駅前にぎわい再生検討委員会では、旧荘内銀行真室川支店の建物や農協の移転の影響もテーマにしています。今の資料館も含めて、図書館や子育て支援センターなど町の施設のあり方についても議論しています。もちろん民間での検討もあるかと思いますが、施設の整備は多額の費用がかかりますのでしっかり検討していかなければならないと考えています。

それでは時間にもなりますので、閉じさせていただきます。

ありがとうございました。

教育課長

次第5「その他」はありません。

以上をもちまして、第1回真室川町総合教育会議を終了いたします。

ありがとうございました。

